

平成22年度6月補正予算 可決

緊急雇用創出事業を追加し 行財政改革等人件費の減額

◆一般会計	1,102万円増額	239億1,102万円	(前年比－0.3%)
◆特別会計	3億838万円増額	123億6,448万円	(前年比－5.1%)
◆企業会計	5,033万円増額	56億8,969万円	(前年比－1.8%)



一般会計補正予算 歳出の主な事業

(単位：千円)

総務費

- ・小学校統廃合地域振興補助金……………8,000
(小学校統廃合の準備と廃校後の地域振興を支援する補助金)
- ・コミュニティ助成事業補助金……………3,600
(若宮地域郷土芸能保存会、岩谷地域自治会祭り用具整備)

民生費

- ・介護雇用プログラム緊急雇用創出事業……………19,030
(介護事業所での新規雇用、資格取得による人材育成事業)
- ・地域介護・福祉空間整備等事業……………7,317
(スプリンクラー設置事業者に対する補助金)
- ・児童扶養手当支給事業……………22,979
(父子家庭対象分の児童扶養手当)

衛生費

- ・環境実態調査・環境美化業務……………1,330
(省エネ法改正に伴う調査等経費)

農林水産業費

- ・農用地利用状況調査・データ整理業務……………2,418
(耕作放棄地等の状況調査)

商工費

- ・「大洲のうかい」船頭育成事業……………2,239
- ・感動案内人等育成業務……………3,989
- ・産業展開催・企業誘致活動経費……………2,109
- ・広域連携推進事業……………2,500
(大洲市・西予市・内子町による観光交流促進事業)

土木費

- ・踏切一種化工事負担金……………7,600
(堀之内踏切の警報機・遮断機設置)

消防費

- ・防火・防災普及啓発推進事業……………1,000
(防火広報用資器材の整備)

教育費

- ・豊かな感動体験推進事業……………1,100
(平野小学校の宿泊体験活動事業)
- ・学校図書台帳電子化事業……………4,564
(中学校図書台帳の電子化業務)

平成22年 6月定例会



平成22年第3回定例会を、6月8日から22日までの15日間の会期で開きました。

本定例会では、一般会計を初めとする補正予算案件が14件、条例改正関係7件、その他案件5件、請願1件が提出されました。質問には2日間にわたり8人が登壇し、地域活性化対策や行政改革の取り組みなど、本市が直面する課題について市当局の考えをたしました。

付託された議案については各常任委員会審査を経て、提案された議案26件をいずれも原案のとおり可決・承認・同意しました。なお、請願1件については、不採択となりました。(詳細は次ページ)